

和木地区活性化計画 ＜概要版＞

平成26年
(2014)
3月

1 計画策定の趣旨

- 和木地区は、大和地域の南部中心としての役割を果たすとともに、山陽自動車道、広島空港、広島中央フライトロードなどが整備され、広域交通条件に恵まれた地区です。
- しかし、過疎化、少子高齢化は本地区でも進行しており、5年後、10年後において現状を維持することが難しくなっています。
- このような状況の中、平成25(2013)年3月、地区で親しまれてきた和木小学校が閉校になりました。地区では閉校を機に、平成25(2013)年度に「和木小学校等跡地活用推進会議」を設置し、跡地活用を含む地区の活性化策について検討を進めていきました。
- その後、三原市中山間地域活性化事業を活用し、和木小学校等跡地の活用を含む「和木地区活性化計画」の策定に取り組みました。

和木地区の位置



2 計画策定の取り組み

- 和木自治振興会では、各種団体の代表者などとともに「和木地区地域計画定委員会」を設置し、「和木地区活性化計画」の策定に取り組みました。
- 計画策定にあたっては、区民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区住民（16歳以上）及び小学生（4～6年生）・中学生、地区外に住み・地区で働いている人へのアンケート調査を実施するとともに、全区民を対象とした和木地区活性化意見交換会を開催しました。



計画策定体制

和木地区地域計画
策定委員会
・自治会役員
・各種団体の
代表者
など

三原市の支援

計画策定の流れ

- (1) 計画策定の進め方の検討
- (2) アンケート調査
- (3) 活性化意見交換会
- (4) 計画案の協議・とりまとめ
- (5) 計画の決定

③ 和木地区活性化計画

地区の将来像

誰もがいきいきと暮らし、多彩な交流が展開される和木地区

地区づくりの基本方針

- 基本目標1 各世代がいきいきと暮らせる地区
- 基本目標2 白竜湖スポーツ村公園をはじめとする地区の魅力を磨き、輝かせる地区
- 基本目標3 多彩な人材と強い絆に支えられた地区

地区づくりの基本計画

1 高齢者が安全でいきいき暮らせる地区づくり

<高齢者のニーズ把握と見守りの推進>

- 高齢者世帯のマップ作成，ニーズの把握
- 地区を挙げての見守りの推進

<高齢者の生活支援>

- 家事援助などの支援
- 高齢者の交通手段の確保
- 外出が困難な高齢者のための食事・買い物の支援

<高齢者の健康づくり・生きがい活動の支援>

- 高齢者サロンの充実，地区全域を対象とした常設サロンの設置
- 保健・福祉・介護サービスの利用に関する情報提供

<その他の取り組み>

- 旧小学校校舎の高齢者介護施設への活用の検討



2 若者・子どもの声が響く地区づくり

<若者定住の促進>

- 地場産業の振興による就業の場の確保
- 地区に愛着を持つ子どもの育成による定住の促進

<UJIターンの促進>

- 空き家の把握，三原市の空き家バンクを活用した情報発信
- 空き家所有者と空き家利用希望者を結ぶ空き家コーディネーターの育成

<子育てしやすい環境づくりの推進>

- 地区全体の子ども会の組織，子どもの見守り（隊）の充実
- 地区を挙げての子育て支援（子育てサークルの充実，ファミリーサポート事業）



3 産業活動が活発で賑やかな地区づくり

<農地の保全と農業の振興>

- 有害鳥獣対策
- イノシシ肉を活用した郷土料理の開発
- 地区の担い手の確保と農業に夢が持てる営農プランの検討
- 都市住民と連携した農地の保全

<地元店舗・事業所の維持・活性化>

- 地元店舗の維持に向けた地区全体での応援

<林地の保全と林業の振興>

- 里山管理ボランティアの育成と林地の保全
- 竹の活用，木材の燃料としての活用

<その他の産業の振興>

- フリーマーケットの開催（野菜の日，フルーツの日，雑貨の日，家具の日など）
- 休耕田を活用した太陽光発電の検討



4 白竜湖を核とした観光・交流が活発な地区づくり

<観光・交流資源の整備>

- 白竜湖周辺の環境保全，桜並木及び湖水面（釣り，水上レクリエーション）の活用
- 花みずき公園，二河公園，梅の里公園の活用（花見，梅もぎ体験など）
- 椋梨川の整備と活用（ホタルの里づくりなど）
- 虚空蔵山の活用（登山道の整備促進，頂上の眺望の確保）
- 神社仏閣，城跡などの散策コースづくり

<おもてなし体制の整備>

- 白竜湖スポーツ村公園・道の駅よがんす白竜と連携した来訪客の誘客の推進
- 観光・交流案内の充実（案内標識，休息施設など）
- 和木地区を満喫できる情報の提供



5 支え合いと交流の地区づくり

<地区行事の見直し>

- 既存行事の単位の見直し（区から地区単位へ）
- 子どもが主役の行事の活性化
- 廃止された行事の復活（花火大会など）及び行事の新設

<伝統芸能などの継承>

- しめ縄づくりの伝統の継承
- 地区の歴史，文化財の保存，管理体制の確立

<地区交流活動の充実（小学校・保育所跡地の活用）>

- いつでも誰でも集まれる場，図書室，歴史文化資料館などの設置

<安全安心な地区づくり>

- 自主防災組織の充実，避難場所・避難経路の周知

<その他の取り組み>

- 地区のキャラクターグッズづくりと地区PRへの活用



4 計画の推進体制

和木自治振興会の活動目標

多彩な地区の担い手と地区出身者などとの協働による地区づくりの推進

計画推進に向けて

① 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

② 和木自治振興会の体制の強化

<継続的に活動できる体制の強化>

○計画の推進に取り組む「和木地域活性化実行委員会」の設置

<段階的な取り組みの推進>

○計画の優先順位付けと段階的な取り組みの推進

<地区人材バンクの設立>

○地区の人材，事業所の得意分野を整理したリストの作成と活用

<取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成>

○住民，各種団体，NPO法人，企業などとの連携の強化

○地区出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用

○講演会，研修会，先進地視察などの開催による人材の育成



③ 情報の受発信体制の確立

<地区内向けの情報受発信>

○和木自治振興会だよりの発行と常会，回覧板などの活用

○若者への情報伝達の強化

<地区外向けの情報発信>

○地区出身者などへの情報発信体制の確立

(ホームページの開設，編集，更新体制の確立など)



<問い合わせ先>

和木自治振興会（和木地区地域計画策定委員会）